

玉野市立宇野小学校

・児童数 194名 ・学級数 10学級 ・教職員数 26名（平成26年9月1日現在）

○ 取組実践のキーワード

基礎的な知識・技能の習得
思考力・判断力・表現力等の育成

○ 課題（研究主題）

自ら考え、活用できる読解力をもった子の育成

○ 取組を始めた経緯

今年度の全国や県の学力・学習状況調査の結果から、学習に対する意欲が高い児童が多く、漢字の読み書きや故事成語、四則計算、作図、資料の読み取り等、基礎的な知識・技能の習得は改善の兆しが見られる。

その反面、文章の事実・感想・意見等の関係を明確に押さえて読むこと、根拠を自分で考えて説明すること等に、課題が見られる。また、テレビ等の視聴時間が長い児童が多いのも課題である。

そこで、今年度は、昨年度までの取組を継続し、更なる改善を図るとともに、読解力の育成に焦点を当て、更なる学力向上を目指すこととした。

○ 取組の実施体制

- ・「魅力ある授業づくり徹底事業」を活用した校内研修
- ・全教師一丸となって行う課題の共通理解と取組

○ 学力向上に向けた具体的な取組

- ・「自ら考え、活用できる読解力をもった子の育成」という研究テーマで、国語科の「読むこと」を中心に校内研修を進め、児童の読解力・表現力を伸ばす。今年度は特に、以下の3点について指導を行う。
 - ① 単元を貫く言語活動を設定し、目的を明確にして教材文を読む。また、2次で習得した力を3次で活用できるようにする。
 - ② 文章にあることを根拠にして、理由を話したり、比較したりする。
 - ③ 国語の基礎となる事柄を的確に理解する。
- ・「岡山型学習指導のスタンダード」を取り入れた授業を行う。
- ・朝学習は、昨年度から引き続き、漢字・計算・読書を全校で取り組み、児童が1日の学習を意欲的に始めるられるようにする。
- ・放課後に補充学習を行い、基礎的な問題だけでなく、発展的な問題にも取り組む。
- ・委員会やクラブを実施しない月曜日の6時間目に、発展的な問題や調査問題の過去問題に取り組む。
- ・児童が活用しやすいように「家庭学習のしおり」を昨年度末に改訂し、今年度の初めに配付した。
- ・昨年度から取り組んできた中学校区での家庭学習強化週間を今年度も5回実施する。今年度の1学期に実施した取組について反省し、より集中して目標時間家庭学習に取り組むことができるように、「がんばりカード」を改善した。
- ・春休みの宿題を今年度から始めるなど、長期休業中の宿題を活用して既習事項の定着を図り、新学年の学習がスムーズに始められるようにした。
- ・今年度から、夏季休業中の全校登校日を行い、1学期の学習の定着と、2学期の学習がスムーズに始められるようにした。
- ・PTA 総会や学級懇談等を活用したり、保護者向けのリーフレットを作成したりして、学力向上に向けた取組について、保護者への協力を呼び掛けている。